

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立榎塚台小学校
校長 二橋 崇浩

中学校区におけるめざす子ども像 1. 自分・人を大切にできる子 2. 学ぶことを大切にできる子 3. 心と体の健康を大切にできる子

令和7年度 重点目標 安全、安心、自信と夢を育む楽しい学校 ― 自分大好き・友だち大好き・学校大好き ―

「確かな学び」の現状
昨年度、「探究的に学習できる児童の育成～ひとりひとりに学びのある学習をめざして～」と設定し、学習活動に全ての子が主体的に参加することに取り組んだ。今年度の研修主題を、「ひとりひとりに学びのある学習「わかった!」「できた!」の連続が自信に」と設定し、大切となるキーワードを明確にしなが授業を行うことで、子どもたちにとってわかりやすい授業となり、知識・技能を確実に定着させることをめざしていきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状
ほかほか言葉の木やきらきらみつけの活動などを、更に発展させ、自分や友だち、学校が好きになる教育活動を工夫していきたい。友だちとのつながりの中で、自分の思いを相手にしっかり伝えたり、相手のことをしっかり受けとめたりできる力が育つよう、様々な場面で粘り強く働きかけていきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組, ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	知識・技能	生きて働く知識・技能をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ●「ひとりひとりに学びのある学習「わかった!」「できた!」の連続が自信に」の実施。 ●ユニバーサルデザインの視点からの授業改善の実施。 ●一人一台端末を必要に応じて有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC 	アンケート 実施報告, 協議	3学期	A ●ひとりひとりの学習の理解度ををはかるために、レディネステストを実施してから単元に入るようにしている。また、研究授業で子どものつまずきの現状を示し、参観する先生ができるようになったことを見取ることができるように工夫した。 B ●どの教室での全面的掲示物を減らし、児童が黒板の文字やテレビの映像に集中できるように配慮がされている。 B ●ドリルパークやカートなどの個別学習だけでなく、チームズを利用した共同学習にも取り組んでいる。	A ●児童アンケートの「学校の学習はよくわかる」という質問で、肯定的な回答は80.5%だった。(昨年度は78.5%)児童ひとりひとりの学習状況を把握し、「できた」という経験を増やしてきた成果が表れている。 A ●「先生は工夫してわかりやすく教えてくれる」という質問では、肯定的な回答が85.4%であった。ICTや掲示物、具体物などを使って、わかりやすい指導を行うことができている。 A ●調べ学習や個別学習など、様々な場面でICT端末を活用することができている。しかし、低学年では活用が難しいといった現状もあるため、来年度は新しい端末でよりいっそう活用していけるよう、学校としても共通で取り組んでいきたい。	A 教師の指導が丁寧で分かりやすく、落ち着いた学習の様子が見られた。ていねいな授業をされている成果がでている。
	思考力・判断力・表現力	未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ●友だちの考えをよく聞き・伝え合い、学習内容を深める。 ●朝の読書の時間や図書の時間に、じっくり読書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC 	アンケート 実施報告, 協議	3学期	B ●ペアやグループ学習を取り入れながら、子ども同士の意見の交流を積極的に取り入れているクラスもある。 A ●火、金曜日に朝読の時間を設けていて、全学年で取り組んでいる。図書の時間には、司書教諭と連携を取りながら読み聞かせやビブリオバトルなどを行い、読書に向かうような取り組みを行った。	A ●児童アンケートでは協動的に学んでいるかの質問で肯定的回答が82.1%であった。しかし、クラスによって教師と子どもの一方通行になっている場面も見られるため、より授業改善に取り組んでいく必要がある。 B ●朝読は、年間通して全学年で取り組むことができた。児童アンケートでも73.1%がたくさんの本を読むことができたと回答している。	A 読書の取り組みは、なかなか難しいところがあるので今後も継続して取り組んでほしい。
	学びに向かう力	学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等を涵養する。	<ul style="list-style-type: none"> ●好きな授業・教科が増えるように、好奇心を高める取組。 ●自己肯定感を高める取組。 ・家での自主学習が進む啓発や取組。 ★個別の支援の方法や合理的配慮の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC 	アンケート 実施報告, 協議	3学期	B ●学習のめあてを明確にし、子どもの実態を把握し、ひとりひとりに学びのある学習を進めている。 B ●生活や総合的な学習の時間では、外部の人材とのつながりや体験活動を大切に、成功した体験や人を喜ばせることができた体験をたくさん積めるようにしている。 B ●毎月、「自主学習のキラキラノート」を昇降口に掲示し、他学年のノートを見られるようにしている。 A ★通級指導教室への入級などにより、支援学級には在籍していないが、生活面や学習面で困り感のある児童に個別の支援を行うことができるようになった。	A ●好きな授業や科目があると回答した児童は90%だった。得意な教科でひとりひとりが輝けるよう、児童に寄り添った指導を心掛けている。 B ●自分にはよい所があると回答した児童は68%だった。たくさんの成功体験ができるよう学校では様々な機会を作ってきた。今後は、家庭にも呼び掛ける必要がある。 B ●家で自主学習に進んで取り組んでいると回答した児童は66.1%であった。学校で学んだことを自主学習でさらに調べている児童おり、自主学習に意欲的に取り組む児童とそうでない児童とに差が生じているように感じる。 A ★各学級で困り感のある児童の見取りを担当が行い、気になる児童について、特別支援コーディネーターや通級指導教室担当と共に、特別支援研修で今後の支援方法を考えることができた。	B 自己肯定感を高めることにも関わって好きなものが増えていくとよいのではないかと。

豊かな心・健やかな体	豊かな人権感覚の育成	思いやりの心を育成する。	●ほかほか言葉、きらきらみつけができていますか。 ・学校のきまり「榎塚の子の約束」の啓発。	・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC	アンケート 実施報告、協議	3学期	B ●1学期に各教室の前に「ほかほかの木」を掲示し、言われて嬉しかった言葉をカードに書いて掲示することで、「ほかほか言葉」を学校全体で意識し、共有することができている。 B ●生活目標と関連させて、毎月啓発するようにしている。	A ●2学期には「きらきらの実」を掲示し、1学期の取り組みと関連付けて取り組むことができた。さらに今年度は、他学年に向けて渡すことも可能にしたため、より意欲的に取り組むことができたように思う。 B ●「身だしなみを整えている」の肯定的回答は76.1%だった。また、「掃除をして学校をきれいにしている」の肯定的回答は84.2%だった。学校のきまりについて今後も生活目標と関連させる等、児童が意識して取り組めるような活動を行っていく。	A	ほかほか言葉やきらきらみつけをするのをいつも楽しみにしている。
		感謝の気持ちを育成する。	・ありがとう等の感謝の気持ちを言える、仲間づくりや啓発。	・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC	アンケート 実施報告、協議	3学期	A ●学校生活のさまざまな場面で友だちを認め合う姿を取り上げながら、仲間づくりに取り組んでいる。	A ●「感謝の気持ちをきちんとと言える」の肯定的回答が88.6%だった。人権委員会を通して、「ありがとうの手紙」というイベントを実施し、感謝の気持ちを伝えるための啓発を行ったことも成果の一つである。	A	よい取り組みなので今後も継続して取り組んでいってほしい。
		いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。	・いじめに対する感覚を高め、早期に発見・解決できるようにする。	・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC	アンケート 実施報告、協議	3学期	B ●いじめ防止に関する研修に参加したり、学期ごとに生活アンケートを行ったりして、いじめの早期発見に努めている。また、早期解決に向けて、教職員で定期的に情報共有を行っている。	B ●学期ごとに生活アンケートを行い、いじめの早期発見に努めている。今後、一層家庭と連携して早期発見できるように取り組んでいく。いじめ防止に関する研修や全校児童への啓発などを引き続き行う。	B	児童と学校、学校と家庭の関わり合いが大切。
健康なからだづくり	体力向上を図る	・体力向上、健康な体作りに向けて、日々の体育授業などの充実を図る。	・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC	アンケート 実施報告、協議	3学期	A ●体育指導の情報提供と共通理解を図り、指導に生かしている。各担任の持っているアイデアや指導方法を全体で共有して各学級の授業に活かすようにしている。	A ●「体育では体をたくさん動かせた」の肯定的回答が84.0%だった。児童が活動できる時間を多く確保した。児童会や保健委員会が企画した運動遊びを継続して行っている効果が表れた。	A	連合運動会の練習の指導等今後も継続して関わっていききたい。	
	生活習慣の向上を図る	・生活習慣を向上するために、毎月の生活目標などの啓発。	・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC	アンケート 実施報告、協議	3学期	B ●二測定時に保健指導を行ったり、ほけんだよりを活用したりしながら生活習慣の向上のための啓発を行う。また、毎月の生活目標を定期的に確認する機会を設け、よりよい生活習慣を身につけることができるよう指導をすすめている。	B ●「早寝・早起き・朝ごはん」「手洗い・うがい」などについて、規則正しい生活が身につくよう、ほけんだよりでの啓発や個別の指導を行った。また、視力についての保健指導の実施や、視力検査後の受診勧告の啓発を行った。	B	生活習慣の向上を今後も継続して行ってほしい。	
開かれた学校	地域連携	地域との交流を深める。 小中一貫した指導体制の確立	・学習活動の中に地域の人と連携した取組。 ・授業、研修などの交流	・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC	アンケート 実施報告、協議	3学期	A ●地域人材を活用し地域と連携した取り組みを行っている。出前授業等を通して、授業内容を効果的にした。	A ●「地域の方の授業がためになる」の肯定的回答は82.4%だった。地域人材や外部からの講師については、特に、5・6年生の総合やキャリア教育については継続的に続いており、今後も連携して進めていきたい。	A	地域との関係は今後ももっと取り組んでいってほしい。 地域の自然環境を活かした体験活動の機会を増やしてもよいのではないかと。
		学校の取組を保護者や地域へ発信する。	・ホームページや校報、学年通信などで、学校の取組の発信。	・達成状況 80%以上でA ・達成状況 50%以下でC	アンケート 実施報告、協議	3学期	A ●毎日学校HPを更新し、学校の様子を配信している。学年毎に発信数に違いがあるので、各学年バランスよくHPの記事の数を更新できるように心がけたい。	A ●保護者アンケート「学校だよりやHPで情報発信している」の肯定的回答は95.5%だった。「校報榎塚」や学年通信などで学校・学年の取り組みや連絡を発信した。今後、HPの学年ごとの発信数については、バランスよく発信していきたい。	A	HP更新については、個人情報保護等もあって難しい部分もあると思うが今後も継続して取り組んでいってほしい。

校長より（年度末）

学校力の向上をめざし、職員一同、様々なことに心を砕き、努力してきた。当初の目標を達成したり、目標以上の結果となった項目もあるが、あと一歩という項目もある。このプランを職員で分析・共有し、目標達成に向けて工夫改善を図っていききたい。

学校関係者評価から（年度末）

教師の丁寧な指導により学びがしっかり積み重なっていると感じられたのが良かった。ICT 機器の活用は効果的で授業に良い影響が出ていたようだった。授業全体として質が高く、教師の熱心さが伝わってきた。